

一般社団法人ボカアップジュニア・ジャパン 平成28年度第3回理事会議事録

1. 日 時 : 2016年5月29日(日) 11:00~13:10

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル1階 南館

3. 出席者

(1) 本人出席者 7名

高橋友一、今井俊二、島谷太、中島晃芳、野村泰朗、平光宗基、丹羽尚子、

(2) 委任状提出者 2名

北原達正、松原仁

(3) 理事以外出席者 7名

金田忠裕(監事)、蟬正敏(監事)、水野勝教(ワーキンググループメンバー)、竹間直美(ワーキンググループメンバー)、前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、藤村晶子(事務局)

4. 議 事

1. 2016ジャパンオープンの報告

愛知大会のまとめ

ノード大会、ブロック大会の実施状況、ジャパンオープン選抜方法の課題

賞状印刷システムの運用

2. 2016世界大会関連

H28年度JSTとの契約内容

事前講習会報告

3. 2017世界大会名古屋関連

審議事項

1. 普及活動助成金、ブロック運営補助について

2. 会員募集、アンケートについて

3. 2017ジャパンオープン(国内大会)について

開催日時と会場

ビギナーズリーグの扱い

4. その他

5. 資 料

資料1-1. ジャパンオープン2016愛知開催結果報告書、収支決算書

1-2. 愛知大会のまとめ

1-3. 2016愛知大会バッテリー使用実態について

資料2-1. ブロック大会・ノード大会 実施状況 2015-2016について

2-2. RCJJ 地区割案 2016-2017について

2-3. ブロック別 参加チーム数 2015-2016について

資料3. JST2016業務計画書

資料4. 2016世界大会事前講習会報告書

資料5. 28年度普及活動助成金について

資料6. 28年度ブロック補助金について

- 資料7. 28年度会員募集について
- 資料8. 27年度会員アンケートについて
- 資料9. 2016ジャパンオープンについて
- 資料10. ビギナーズリーグの取り扱いについて
- 資料11. 福井ノード新設に関する報告について

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2016ジャパンオープンの報告について

①水野氏より、ジャパンオープン2016愛知について報告がなされ、資料1に基づき、今後の改善点について以下の通り挙げられた。

1. 前回大会までの情報共有化(事前準備、大会運営、受付、表彰等マニュアル作り)
2. 選抜枠の決定を早目に行い、エントリー完了までを現行より1ヶ月程前倒しにすることが望ましい
3. エントリー方法の見直し

次大会以降、スムーズな運営に向けて指摘された項目について、今回実現できなかった項目を含め順次取り組むことが確認された。(具体的な取り組みについては、(6)①項)

②野村理事より、賞状印刷システムの運営について、現在マニュアルを作成中であり、畑氏とシステム化を進めており、6月中にマニュアル(1版)ができる予定である。次大会から運営する旨報告がなされた。

③資料1-3に基づき、中島理事より、ジャパンオープンでのリチウム系バッテリーの使用実態について報告がなされ、次大会以降も継続し電池検査を行うこととなった。

(3) 2016世界大会について

①資料3に基づき、高橋代表理事及び浅沼事務局員よりH28年度のJSTとの契約内容について報告がなされた。事前講習会旅費及び世界大会旅費の支援を行う。5月末に2016世界大会参加追加枠として5チームのメンバーが追加され、その枠を受ける事にする。追加チームのメンバーが確定次第、1名当たりの旅費支援金額を発表することになった。

②資料4に基づき、丹羽理事より、2016世界大会事前講習会について、英会話講習では、野村理事他世界大会運営経験者を交え、技術的内容に踏み込んだインタビュー審査のロールプレイング、競技中の抗議の仕方など、より実践に近い講習となった旨報告がなされた。使用教材は、インターネットで公開することとし、準備が出来次第、国際担当理事から広報担当理事に関連情報を伝え、RCJJのHPからアクセスできるようにする。

(4) 2017世界大会名古屋について

①高橋代表理事より、2017世界大会名古屋開催に向けてのボランティアスタッフ及び審判について、RCJJが中心になって対応することが確認された。審判については、2016ジャパンオープンで協力して頂いた愛知工業大学の学生さんや審判経験者に全国から来て頂くことも考慮することとなる。2017世界大会開催期間は多くの大学の試験期間に重なるので協力可能水野氏に問い合わせ頂く。開催地近くの学生を集めて頂くよう、開催委員会を通じ行政に要請する。

(5) 普及活動助成金、ブロック運営補助について

①資料5に基づき、浅沼事務局員より、ブロック運営補助金の支払い状況についての報告がなされた。また、資料6に基づき、今年度普及活動助成金募集要領について説明がなされ、問合先は現行の今井理事から島谷理事に変更することとし、承認された。

(6) 会員募集、アンケートについて

①資料7, 8に基づき、浅沼事務局員より、会員募集及びアンケート実施について説明がなされた。会員募集期間は昨年同様7月1日から10月31日までとすることとなった。今後の事務手数料、参加費などの改定を踏まえ、HPの会員特典にあるジュニア会員ジャパンオープン参加料の記載について変更する事と、改定は当該年度の予算策定時に決定することとなった。(2)のジャパンオープンでの円と一方式の見直しと賞状印刷システムに課題を合わせ、RCJJ公式HP内の会員システムを、会

員登録、ジャパンオープン登録、賞状印刷等、今後連携できるよう広報担当の今井理事が中心になって、7月をめどに再検討することとなった。またアンケートについては、2015年のジュニア会員保護者を対象に郵送し、記入後返送してもらうこととなった。

(7) 2017ジャパンオープン(国内大会)について

①資料9に基づき、島谷理事より、ジャパンオープン候補地の視察を行ったことについて報告がなされた。先方より3月もしくは5月開催の2案が挙げたが、同年7月の世界大会名古屋を考慮すれば3月開催が望ましいとする理事会の意向が確認された。開催候補地側は、PRの観点から、一般の人に分かり易いメジャーの(例えば、ヒューマノイド競技)の実施を希望していることも報告された。

②資料10に基づき、中島理事より、ビギナーズリーグの取り扱いについて説明がなされた。2017名古屋世界大会では、年齢下限が12歳になり、プライマリとセカンダリの区別がなくなる予定である。その状況下、日本国内ではプライマリは定款にあるRCJJの目的を実現するために実施を基本とする。今後どのように継続するか、引き続き検討することとなった。

(8) その他

①資料11に基づき、平光理事より福井ノード新設について報告がなされた。レスキューラインのみで第1回ノード大会を行うこと、地理的なこと等踏まえ、ブロック長意見交換会で岐阜・石川・京滋奈ブロックのいずれに所属するかを話し合うこととした。

②竹間氏より、2016世界大会におけるレスキューブリッジリーグをジュニアでも公募する旨報告がなされた。

③野村理事から2016世界大会旅費補助の対象者に変更がある事に報告があった。それを受け、支援総額は30万円のままとし、旅費支援対象を2016世界大会に参加する20160Cを含めた関係者とし、具体的な対象者と支援額については、国際担当の丹羽理事と野村理事で調整する事になった。

④次回理事会は9月4日(日)に開催することとした。

(9) 議事録署名人の選任

閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、今井俊二氏、及び平光宗基氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成28年5月29日

議長 高橋 友一

議事録署名人 今井 俊二

同 平光 宗基

